

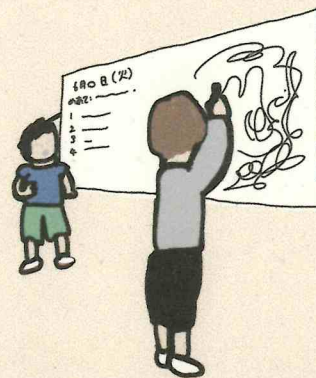
# かがやき

令和6年 6月 14日 (金)  
多摩市立連光寺小学校  
特別支援教室 かがやき学級  
学級通信 NO. 5

## なにがあったのか。どうしたらよかったのか。「現場」から振り返る。

支援教室の小集団指導では、個々の課題に応じつつ、小集団での学び合いから学習できる内容を教材として「演習」に入れていきます（相手への意識、勝敗の受け入れ、言葉の伝え方、言い方等々の要素が入った運動やゲームなど）。ただ、時としてその場のちょっとしたトラブルが、生の指導教材になることもあります（ケンカやもめごとなど、教室でも同様のことが起こりますね）。今日はそんな「現場」で実際に起こった出来事を子供たちと振り返って整理したエピソードをご紹介します。

小集団指導前の隙間時間のことです。数名の子供たちが、教室のホワイトボードに先生の許可をもらってイラストや字を書いていた。楽しくてだんだん盛り上がりだしたようで、ボードペンで書く範囲が広くなり、内容も何だかぐちゃぐちゃした感じになってきました。指導開始まではまだ少し時間があつた為、先生も許容範囲と判断していました。そのとき、A君がおもむろに「もう消そう」「はい、消して」等と言い、ボードペンで書き続けている数名の子に声をかけ始めました。ただ、先生からはストップがかかっていない状況であり、数名の子は「？」という感じてした。その後もワイワイしながらこのやり取りが続きましたが、A君は自分の声が届いていないことにイラっとしたようで大きな声と、かなりきつめの言い方で怒鳴ってしまいました。すると、その様子に反応したB君が急に血相を変えてA君につかみかかりました（一瞬のできごと！）。先生が止めに入ると同時に近くにいたC君も二人の間に割って入ってくれました。小集団指導に参加する直前の5人と先生の「現場」に発生したもめごと。



その後、静かに先生が着席するように話しかけ、みんなで「何があったのか、どうしたらよかったのか」整理していきましました。そこで見えてきたそれぞれの事情は以下の通りです。

- ・A君の思い…「だんだんホワイトボードに書かれる範囲が広がって、ぐちゃぐちゃになってきたからもう止めないといけないと思った。だから消した。」
- ・B君の思い…「絵をかいていた時にA君にいきなり強く怒鳴られて嫌な気持ちになった。」

そして、整理していく中で、更に確認できたのはA君の「思い」は言葉では発せられておらず、その場にいた友達に伝わっていなかったこと。B君はA君の怒鳴り声に反応してしまったとのことでした。この点を踏まえて一人一人に意見を聞いていくと「まず、A君が言葉で言えればよかった。」「A君もB君もどうしたいか言えばよかった。」「怒る気持ちもわかるけど、言い方じゃないかなあ」等の声を聞くことができました。自分や相手の「思い」にズレが生じたときにトラブルが起こる。起きてしまったら話し合って解決する。今回、期せずして起こった今回のトラブル。「現場」をみんなで振り返り、どうすればよかったかを共有することができました。そして、トラブル後の「何かやってしまった！」感も感じつつ、A君もB君も落ち着いて話を聞くことができました（以前から比べると本当に大きな成長です）。状況を正しく認識すること、当事者の考えや行動を冷静に受け止めていくこと、そして何より話し合うことで解決できること。いろんなスキルがたまった「現場」からの学びとなった時間でした。

## お知らせ

・かがやき前期個人面談へのご協力、ありがとうございました。

お子さんのおうちでの様子、頑張っている事等を知ることが出来ました。今後の指導へ生かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

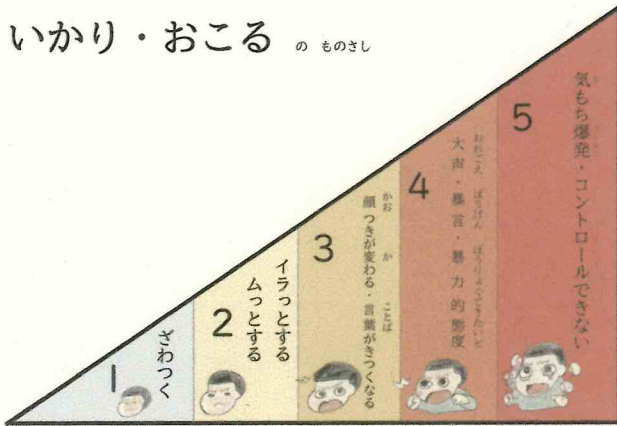
・令和7年度かがやき継続／退室アンケートについて

6月初めに配布させていただきましたアンケートですが、まだお手元にありましたらかがやきまでご提出をお願いいたします。アンケートを基に来年度の書類作成・指導等を行っていきますので、よろしくお願いいたします。

## かがやきの教材紹介

・きもちののさしシリーズ

いかり・おこる ののさし



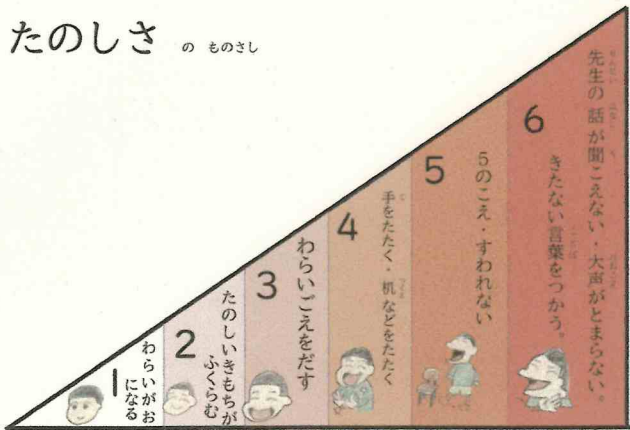
かがやきではオリジナル教材を作成し、それを個別指導や小集団指導に活かしたりすることがあります。

本教材は、『きもちののさしシリーズ』です。何かトラブルがあった際の気持ちについて、どのレベルにあるのかを子供自身に振り返りさせること等に使用します(「あの時はレベル5だったけど、今は2になってる」等)。振り返った上で教師は、「イライラした時はどうしたら1に戻れるかな?」「楽しくなっても2くらいで抑えられるといいね」等の声掛けをします。

自分の気持ちを可視化することで、「自分はこんな気持ちを抱いていたんだ」と実感することができ、そのような気持ちを抱く自分自身を認めることに繋がります。気持ちを認める事ができれば、「じゃあ次はどうしよう」と考えることができます。

この他にも、かがやきにはさまざまな教材があります。少しずつご紹介できればと思っています。

たのしさ ののさし



ふあん ののさし

